

第7回 理事会議事録（平成28年度）

日時：平成29年3月18日（土）

13:30～16:30

場所：鹿児島県看護協会1階会議室

I 議事に加わることができる理事

17名

II 出席理事及び定足数の確認

出席理事 17名

会長 田畑千穂子

副会長 下仮屋道子

副会長 中重敬子

専務理事 原田ケイ子

常任理事 内司啓子

職能理事 西原洋子、園田良子、松原幸江、富吉奈美子

地区理事 山本むつみ、寺師真理子、長井砂都美、本蔵信子、丸目まり子、
伊比礼まり子、若松千鶴美

准看護師理事 中島久美子

III 出席監事

財部マチ子 古川康郎

IV 会長挨拶

定款第40条に基づき、議決に加わることができる理事17名全員の出席により過半数9名を満たしていることから、本会は有効に成立することを確認の後、議案の審議に入った。理事会の議長は、会長（定款第39条）が議長となり、以下進行した。

V 協議事項

1 基本方針に関する事項

1) 平成29年度重点事業及び事業計画（案）について

会長の全体的な概要説明の後、専務理事は次のとおり説明した。

重点事業としては、1.地域包括ケアシステムの推進、2.看護職が働きやすい環境づくりの推進、3.看護の質向上及び看護職の役割拡大の推進、4.会員サービスの強化と会員増の4つを大きな柱として、看護教育及び学会等学術振興に関する事業他5件の事業、そして新規の取組として看護師のクリニカルラダーの活用推進他11件の事業に関して説明した。

このことに関しては、出席理事全員の賛成があり承認された。

2 事業推進に関する事項

1) 平成29年度地域医療介護総合確保基金事業について

専務理事は、新規事業の地域医療介護総合確保基金事業について次のとおり説明した。

在宅医療の担い手となる訪問看護師は人材不足である。本年10月に策定される県地域医療構想案においては、2025年の病院の必要病床数が示され、全圏域で今後増加が見込まれる在宅医療需要に対応する体制づくりが重要である。今後、在宅療養における訪問看護需要の増加に伴

い訪問看護師の需要及び役割が増えることから、訪問看護ステーションにおける訪問看護師の人材確保及び育成を行うため、訪問看護に関係する課題の抽出や対応策の検討、訪問看護事業者の基盤強化を図るための研修等を実施する。具体的には、1.訪問看護事業者実態調査及び課題抽出事業、2.訪問看護事業者によるサービス提供体制強化事業、3.医療・介護事業者ターミナルケア促進事業、4.訪問看護理解・連携促進事業を行う。また、認知症対応能力向上研修も実施する。

以上のことについては、出席理事全員の賛成があり承認された。

2) 看護職のネットワーク強化事業について

専務理事は次のとおり説明した。

看護職員総数の約60%以上が協会の会員であるべき姿と考えるが、他の団体と比較すると会員割合が低い。組織率を高めるためにも新たな広報も進める必要があり、離島各地への啓発活動なども強化していきたい。新会員情報管理体制への移行・安定に係る3年(平成29~31年)を強化期間と位置づけ、入会推進活動を含むネットワーク強化事業を推進する。予算に関しては、日本看護協会からの助成も計画されている。

以上のことについては、出席理事全員の賛成があり承認された。

3 管理的事項

1) 研究倫理委員会規約改正について

専務理事は次のとおり説明した。

研究倫理委員会規約の第1条目的において、公益社団法人日本看護協会の「看護者の倫理綱領」(2003年制定)を、「看護研究における倫理指針」(2004年制定)に改正する。「看護研究における倫理指針」には「看護者の倫理綱領」の内容も包括され、県協会の研究倫理委員会でも協議検討され、この改正の承認がされたところである。

このことについて、出席理事全員の賛成があり承認された。

2) 平成29年度行事予定について

専務理事は、平成29年度の理事会開催日、総会日など主な行事を説明し、予定日を提示した。

このことについては、出席理事全員の賛成があり承認された。

3) 平成28年度決算見込みについて

会長から事務局長へ指示があり、事務局長は平成28年度の平成29年1月末現在の執行実績と平成29年2月・3月の執行予定額から平成28年度の決算見込額を算出し、平成28年度の決算見込額を報告した。

4) 平成28年度予算(案)について

会長から事務局長へ指示があり、事務局長は次のとおり説明した。

平成28年度の決算見込額に基づき、主な事業や科目について増減理由などを説明した。

資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類では、設備投資の見込みについて、先の理事会で承認を得ていた固定資産の取得状況を説明した。

以上、収支予算の収益・費用の増減に伴う補正予算(案)を提案した。

このことに関しては、出席理事全員の賛成があり承認された。

5) 平成29年度予算案について

会長から事務局長へ指示があり、事務局長は次のとおり説明した。

平成 29 年度予算額については、平成 28 年度の事業執行状況や決算見込み額、また、平成 29 年度の継続事業などの進捗状況、また新規事業の「地域医療介護総合確保基金事業」や「看護職のネットワーク強化事業」などの予算について説明し、平成 29 年度の予算額（案）を提案した。

このことについては、出席理事全員の賛成があり承認された。

6) 平成 29 年度通常総会及びプログラム並びに議案について

専務理事は、平成 29 年度通常総会及びプログラム並びに議案について説明し、出席理事全員の賛成があり承認された。

7) 平成 29 年度役員・職能委員・推薦委員候補者等について

専務理事は、平成 29 年度役員・職能委員・推薦委員候補者等について説明し、出席理事全員の賛成があり承認された。

8) ナースセンター所長の解任及び選任について

専務理事は、ナースセンター所長の解任及び選任について説明し、出席理事全員の賛成があり承認された。

9) 訪問看護ステーション所長の解任及び選任について

専務理事は、訪問看護ステーション所長の解任及び選任について説明し、出席理事全員の賛成があり承認された。

4 会員支援関係

1) 平成 29 年度鹿児島県看護協会会長表彰者の推薦について

専務理事は、平成 29 年度鹿児島県看護協会名誉会員候補者推薦の考え方及び候補者について説明し、出席理事全員の賛成があり承認された。

2) 平成 29 年度鹿児島県看護業務功労者の表彰者の推薦について

専務理事は、平成 29 年度鹿児島県看護協会会長表彰の考え方に基づく候補者について説明し、出席理事全員の賛成があり承認された。

VI 報告事項

1 基本方針に関する事項

1) 平成 29 年度教育計画案について

常任理事は、平成 29 年度教育計画案について、継続研修や新規研修を含めた研修内容、日程等に関して報告した。

2 事業推進に関する事項

1) 訪問看護人材活用試行事業の実施について

2) 子どもと子育て世代包括ケア推進のためのモデル事業について

3) WLB フォローアップ推進・評価委員会について

4) 第 50 回（平成 31 年度）日本看護学術集会の開催について

5) 看護職員就業相談事業について

6) 平成 29 年度看護師等特定行為支援事業に係る意向調査について

7) 男性看護師交流会について

8) 准看護師養成校への訪問について

3 管理的事項

- 1) 「看護職の賃金モデル」推進事業会議について
- 2) 理事会・運営委員会議事録について

4 会員支援関係

- 1) 平成 28 年度地区別会員数の状況について
- 2) 平成 29 年度新規・継続会員の状況について

5 その他

- (1) 日本看護協会理事会報告（口頭報告）(2) 職能委員会報告（口頭報告）
- (3) 地区報告（口頭報告）(4) 委員会報告（書面報告）
- (5) 地区長情報交換会報告（口頭報告）(6) 他団体会議報告（書面及び一部口頭報告）
- (7) 出張報告（県外）（書面報告・当日回覧）



Ⅶ その他

次回の理事会は5月13日（土）午前9時30分～午前11時30分予定

以上をもって議案の審議等を終了したので、16時30分、議長は閉会を宣言した。

この議事録が正確であることを証するため、出席した会長及び監事が署名押印する。

平成29年3月18日

会長	田畑千穂子	
監事	貝才部マチ子	
監事	古川康郎	